



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 ポパール興業株式会社
 コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-419-1827

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,570	0.3	283	9.6	312	7.0	218	7.7
2021年3月期第3四半期	2,562	1.2	313	11.8	336	9.1	236	7.6

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 209百万円 (29.8%) 2021年3月期第3四半期 297百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	82.84	
2021年3月期第3四半期	89.75	

(注) 2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	6,375	5,285	82.6	1,998.47
2021年3月期	6,227	5,158	82.5	1,951.11

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 5,265百万円 2021年3月期 5,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		15.00	
2022年3月期		16.00			
2022年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割いたしました。2021年3月期の第2四半期末の配当につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年3月期の年間の配当につきましては、株式分割を行ったことにより単純計算ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当は30円であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,399	4.5	382	18.6	385	10.2	258	21.9	97.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	2,634,800 株	2021年3月期	2,634,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	226 株	2021年3月期	226 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	2,634,574 株	2021年3月期3Q	2,634,629 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの正常化が着実に進み、製造業全般において生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が積極的に行われたものの、新たな変異株（オミクロン株）の感染が報告されるなど、依然として先行きが不透明な状況となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」「生産の合理化」「共感力の浸透」を目標に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、自動車業界を中心に緩やかではありますが先送りされていた受注が戻りつつあるほか、研磨関連の製品が底堅く推移しました。また、原価低減と経費節減に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,570百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は283百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益は312百万円（前年同期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は218百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、自動車・鉄鋼業界を中心にベルト関連製品の販売が堅調に推移したほか、ディスプレイガラス向け研磨部材の販売が底堅く推移しました。以上の結果、売上高は2,197百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、新型コロナウイルス感染症による設備投資の先送りや凍結の影響がありました。以上の結果、売上高は372百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて147百万円増加し、6,375百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて98百万円増加し、2,967百万円となりました。これは主に、現金及び預金が33百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が141百万円増加したこと（前連結会計年度末の受取手形及び売掛金との比較）によるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて49百万円増加し、3,408百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が67百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて20百万円増加し、1,089百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、694百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金20百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて0百万円増加し、394百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて127百万円増加し、5,285百万円となりました。これは主に、利益剰余金が136百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年9月16日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,151,440	1,117,528
受取手形及び売掛金	710,101	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	851,799
商品及び製品	125,866	99,567
仕掛品	502,284	510,267
原材料及び貯蔵品	322,112	329,802
その他	57,057	58,843
貸倒引当金	△430	△775
流動資産合計	2,868,431	2,967,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,777,085	1,824,287
減価償却累計額	△1,129,151	△1,166,318
建物及び構築物(純額)	647,933	657,969
機械装置及び運搬具	1,360,946	1,351,271
減価償却累計額	△1,212,020	△1,216,858
機械装置及び運搬具(純額)	148,925	134,413
土地	1,599,007	1,595,525
建設仮勘定	7,886	75,183
その他	225,494	232,715
減価償却累計額	△200,177	△204,811
その他(純額)	25,316	27,904
有形固定資産合計	2,429,069	2,490,995
無形固定資産		
のれん	19,181	7,655
その他	5,088	6,047
無形固定資産合計	24,270	13,702
投資その他の資産		
投資有価証券	793,948	773,003
その他	112,706	131,965
貸倒引当金	△637	△1,185
投資その他の資産合計	906,016	903,782
固定資産合計	3,359,357	3,408,480
資産合計	6,227,788	6,375,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	342,063	362,916
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	64,777	49,455
賞与引当金	74,737	42,742
その他	173,909	219,883
流動負債合計	675,488	694,998
固定負債		
役員退職慰労引当金	234,104	226,988
退職給付に係る負債	151,727	160,755
その他	8,262	7,214
固定負債合計	394,094	394,958
負債合計	1,069,582	1,089,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,451,408	4,587,974
自己株式	△189	△189
株主資本合計	4,906,161	5,042,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,195	182,595
為替換算調整勘定	39,995	39,802
その他の包括利益累計額合計	234,190	222,398
非支配株主持分	17,853	20,431
純資産合計	5,158,205	5,285,557
負債純資産合計	6,227,788	6,375,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,562,672	2,570,108
売上原価	1,577,909	1,596,541
売上総利益	984,763	973,566
販売費及び一般管理費	670,782	689,644
営業利益	313,980	283,921
営業外収益		
受取利息	183	191
受取配当金	15,296	19,503
受取賃貸料	4,338	5,523
為替差益	—	3,684
助成金収入	3,599	—
その他	2,006	2,886
営業外収益合計	25,425	31,789
営業外費用		
支払利息	65	47
賃貸収入原価	—	3,139
為替差損	3,033	—
その他	83	0
営業外費用合計	3,182	3,186
経常利益	336,224	312,524
特別利益		
固定資産売却益	394	78
投資有価証券売却益	—	10,807
特別利益合計	394	10,886
特別損失		
固定資産除売却損	269	2,562
特別損失合計	269	2,562
税金等調整前四半期純利益	336,348	320,848
法人税等	98,010	101,677
四半期純利益	238,338	219,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,873	933
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,464	218,237

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	238,338	219,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,041	△11,599
為替換算調整勘定	△23,756	1,452
その他の包括利益合計	59,284	△10,147
四半期包括利益	297,622	209,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,874	206,444
非支配株主に係る四半期包括利益	1,747	2,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売費及び一般管理費として計上しておりました販売手数料等の一部及び営業外費用に計上しておりました売上割引については、売上高から減額しております。また、輸出入取引については、顧客との契約条件に基づき、財又はサービスを顧客に移転し履行義務が充足された時点で収益を認識することといたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,542千円減少、売上原価は1,805千円増加、販売費及び一般管理費は12,083千円減少、営業外費用は38千円減少したことで、営業利益は735千円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は774千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,117,717	444,954	2,562,672	—	2,562,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	571	4,663	5,234	△5,234	—
計	2,118,288	449,617	2,567,906	△5,234	2,562,672
セグメント利益又は損 失(△)	316,132	38,941	355,073	△41,092	313,980

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

総合接着・樹脂加工事業において、第2四半期連結会計期間に土地及び、建物を取得したことにより、セグメント資産が276,057千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	355,073
セグメント間取引消去	11,986
全社費用(注)	△53,079
四半期連結損益計算書の営業利益	313,980

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,197,262	372,845	2,570,108	—	2,570,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	6,768	6,823	△6,823	—
計	2,197,317	379,614	2,576,931	△6,823	2,570,108
セグメント利益又は損 失(△)	335,639	△13,385	322,254	△38,332	283,921

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	322,254
セグメント間取引消去	14,430
全社費用(注)	△52,762
四半期連結損益計算書の営業利益	283,921

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。